

Hockey World League Semi - Final (Johannesburg/RSA)

大会名	Hockey World League Semi - Final	日付	2017年7月14日
場所	Wits University, Parktown(RSA)	天候	晴れ
試合	第3戦 (予選リーグ)	通算結果	2勝1分

Country	RESULT	Country																
日本 JAPAN 世界ランキング11位	2	ポーランド POLAND 世界ランキング18位																
	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td>1P</td><td style="text-align: center;">0</td><td style="text-align: center;">-</td><td style="text-align: center;">0</td></tr> <tr><td>2P</td><td style="text-align: center;">0</td><td style="text-align: center;">-</td><td style="text-align: center;">0</td></tr> <tr><td>3P</td><td style="text-align: center;">1</td><td style="text-align: center;">-</td><td style="text-align: center;">0</td></tr> <tr><td>4P</td><td style="text-align: center;">1</td><td style="text-align: center;">-</td><td style="text-align: center;">0</td></tr> </table>	1P	0	-	0	2P	0	-	0	3P	1	-	0	4P	1	-	0	0
1P	0	-	0															
2P	0	-	0															
3P	1	-	0															
4P	1	-	0															

Start	No.	Name	備考
✓	1	景山 恵	GK
	6	浅井 悠由	
✓	3	錦織 えみ	
✓	5	及川 栞	
✓	6	内藤 夏紀	
✓	7	一谷 麻実	
✓	10	湯田 葉月	
	5	一谷 奈歩	
✓	16	野村 香奈	
✓	17	永井 葉月	
	5	18	真野 由佳梨 C
✓	19	加藤 彰子	
	5	20	清水 美並
✓	21	永井 友理	
	5	22	狩野 真美
	6	23	瀬川 真帆
✓	25	河村 元美	
		27	田中 秋桜 GK
監督	アンソニー ジェイムス ファリー		
UMPIRE	ARIFFIN Miskarmalia(SIN)		

Start	No.	Name	備考
✓	4	KATERLA Amelia	
✓	7	ZAGAJSKA Magdalena	
✓	9	WYPIJEWSKA Martyna	
	7	10	SKORASZEWSKA Daria
✓	11	WESSOLOWSKA Weronika	
		12	GABARA Anna GK
	13	14	MICHALOWICZ Roxana
	10	15	SLAWINSKA Paula
✓	16	RYBACHA Marlena (C)	C
✓	17	POLEWCZAK Monika	
✓	18	WISNIEWSKA Natalia	
	7	20	TATARCZUK Sandra
✓	21	KUCHARSKA Marta	GK
✓	22	WOJTAS Weronika	
✓	23	KRUSZYNSKI Marta	
	7	24	BLASZYK Wiktoria
✓	25	STRUBBE Bianca	
	11	26	GROCHOWALSKA Karolina
監督	RACHWALSKI Krzysztof		
UMPIRE	JOUBERT Michelle (RSA)		

Country	Min	Name	Action	Score
JPN	36	永井 葉月	FG	1-0
JPN	56	野村 香奈	FG	2-0

Country	Min	Name	Action	Score

予選リーグ3戦目、ポーランドとの試合は、ボールポゼッションを高めること、そして、我慢強く最後まで戦うこと、特にこの2点を念頭に置きながら臨戦した。

1st Period
日本のセンターパスにより前半戦が開始される。立ち上がり日本は、ポーランドの中を固めてくる守備に対応して広いポジションを確保しながら、相手陣内に攻め込む。6分、ターンオーバーから左サイドにポジションを取っていた#18真野にボールが繋がりが、ドリブルで持ち込みながらサークル中央の#20清水にパス。相手DFのインターフェアのファウルを誘い、この試合1本目のPCを取得。シュートは惜しくも相手GKに阻まれる。その後も激しいプレスで相手の攻撃の芽を摘み優位に展開するも決定的なチャンスを創ることが出来ず、第1ピリオド終了。

2nd Period
第2ピリオドに入っても、日本は前線から激しいプレスを仕掛け、ポーランドの攻撃を封じ込む。24分、サークル左サイドからの#19加藤の回り込みに対してポーランドDFがインターフェア、PCを取得。#16野村のドラッグシュートは惜しくも相手GKに阻まれる。その後26分にもPCを取得するが、得点を挙げる事が出来ない。結局、両者無得点のまま前半戦を終了する。

3rd Period
先取点の欲しい日本は後半に入っても、ボールを大きくシフトさせながら相手陣内に攻め込み得点のチャンスを狙う。前半戦に比べサークル侵入の回数も増え、得点チャンスを創るもののフィニッシュまで至らない。そんな中、36分日本は右サイドで素早いパス交換から#21永井友理から#17永井葉月にボールが渡り、サークル右45度付近からヒットシュートを放つ。ボールはゴール内に吸い込まれ待望の先制点を奪う。

4th Period
追加点の欲しい日本は、第4ピリオドも序盤から積極的に高い位置でプレスを仕掛け、ポーランドのミス誘いボールを奪い、サークル侵入を狙う。50分には#21永井友理がサークル左45度付近からヒットシュートを放つが惜しくも枠を外れる。53分にはPCを取得するが決められない。逆に、55分、日本のアウトレットのミス突かれ、25m付近でボールを奪われるとそのままサークル侵入を許し、シュートを打たれ、ヒヤットする場面であったが、シュートは枠を外れる。その直後の58分、日本は中盤での素早いパス回しにより左サイドからサークルへ侵入しベースライン際の#22狩野にボールが繋がる。苦しい体勢ながらもリバースでシュート、一旦はGKに阻まれるもののサークル中央付近にはじいたところを#16野村が冷静にシュート。ボールは見事にネットを揺らし、勝利を決定づける2点目を奪う。そのまま2-0で試合終了。
日本のここまでの通算戦績は3戦、2勝1分・勝点7となった。ポーランドが予選リーグの4戦全てが終了し、4敗・勝点0となったため、日本は予選リーグ最終戦を待たずに準々決勝進出が決定した。

日本	6	PC数	0	ポーランド
	10	シュート数	1	